

令和4年度 第3回 とみやわくわくミーティング 「とみやわくわく子どもミーティング」 実施報告書



富谷市総務部市民協働課



富谷市公式キャラクター
ブルベリッ娘とブルビヨ

○事業概要

テ ー マ	子どもにやさしいまちづくりについて ～みんなで話そう！とみやの未来～
日 時	令和4年11月18日（金）午後3時00分～午後5時00分
場 所	富谷市役所 市民交流ホール
座 長	富谷市長 若生 裕俊
参 加 者	一般参加 16名（市内小学校8校の5・6年生） 富谷市 9名（市長、副市長、教育長、子育て支援課2名、 市民協働課4名） 傍聴者等 11名
内 容	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. ミーティング テーマ1：子どもにやさしいまちってどんなまち？ テーマ2：魅力的なまちづくりに向けて自分たちができること 4. 教育長感想 5. 市長感想 6. 閉会



○市長あいさつ

皆さんこんにちは。本日は市内8校の小学校から代表して、このとみやわくわく子どもミーティングにご参加いただき誠にありがとうございます。富谷市は平成30年に日本ユニセフ協会から子どもにやさしいまちづくり事業検証作業モデル自治体として、全国5自治体の一つとして選んでいただきました。それを機に先進的な取組を進めていこうということで、平成30年11月20日の世界子どもの日に、富谷市子どもにやさしいまちづくり宣言を行ったところでございます。世界中の方が集まり、世界中の色々なことを決めたりする大きな国際機関である国際連合で、子どもの権利を認め、大事にしていきたいと思いますということが採択された日が11月20日で、その日を記念し、世界子どもの日が制定されました。富谷市におきましても、11月20日の世界子どもの日に合わせて、毎年皆さんから市の取組について、または皆さんが日頃学校や家庭で思っていること、日常生活の中で、「ちょっとこの辺どうにかならないかな」、「これはちょっと危険だな、変えてほしいな」など、色々思っていることを私に直接意見として伝えていただく場として、とみやわくわく子どもミーティングを開催しております。すぐやれることはすぐやるようにしていますし、もしかしたらすぐできないことでも、しっかりと皆さんの声を実現できるように、今日は市の幹部職員も皆さんの声を聴くために出席しておりますので、遠慮なく日頃思っていることをお伝えいただければと思います。

今日は2つのテーマについてお話ししますが、まずは皆さん緊張しないで、リラックスして色々なことをお話していただければと思います。今日はどうぞよろしく申し上げます。



〇ミーティング

テーマ1：子どもにやさしいまちってどんなまち？

1. 大人が子どもの意見を聞いてくれるまち	P 4
2. 公園や遊ぶところが常にきれいなまち	P 4
3. 子どもが楽しく学び、暮らせるまち	P 5
4. アイデアや声が届いたり、将来に夢や希望を持って元気に過ごせるまち	P 5
5. 観光地や商業地をたくさん作り、県外からも観光客を呼べるまち	P 6
6. 色々な世代が交流できる場があるまち	P 7
7. みんなが楽しく生活できて、楽しめる施設があるまち	P 7
8. 地下鉄や電車があるまち	P 8
9. 事故のないまち	P 8
10. 色々な人と交流し、絆が深まっているまち	P 8
11. 子どもが毎日幸せで安全に過ごし、未来に希望を持てるまち	P 9
12. 自然が残っていて、安心して遊ぶことができ、毎日楽しく過ごせるまち	P 9
13. 近くに公園があるまち	P 10
14. 自転車が安全に走ることができるまち	P 10
15. 大人も子どもも関係なく仲良く交流が深められるまち	P 11
16. 小学生から高校生まで無料で使える施設があるまち	P 11



1. 大人が子どもの意見を聞いてくれるまち

参加者

大人が子どもの意見を聞いてくれるまちです。どういうことかということ、会議など、大人の意見だけで決めるのではなく、子どもの意見に耳を傾け、実際に取り入れるということです。子どもや学校のことなど、大人たちが集まって話をして決まったとしても、それは大人の考えなので、子どもはあまり分からなかったりすると思ったからです。大人が子どもの意見を聞いてくれれば、子どもにやさしいまちではなく、子どもにもやさしいまちになると思います。

座長（市長）

大人の考え、大人の目線だけでは見えないことがたくさんあるので、子どもの考えも色々なところで大事にしていきたいと思っています。そういう意味で、富谷市は子どもにやさしいまちづくり宣言をして、子どもの権利、そして子どもの意見をしっかり取り入れるため、本日のわくわく子どもミーティングもそうではありますが、富谷市総合計画には中学生の代表に参加してもらい、子どもの意見を積極的に聞くようにしているところですが、これからもそういったことを意識しながら、まちづくりに取り組んで参りたいと思います。

2. 公園や遊ぶところが常にきれいなまち

参加者

公園や遊ぶところが常にきれいなまちです。小学生はよく公園で遊ぶことが多いので、公園が常にきれいだと放課後も友達と楽しく過ごすことができるので、そういったことが子どもにとってやさしいまちだと思います。

座長（市長）

公園で遊ぶとき、汚いと気持ちよくないし、居心地も良くないですね。草が伸びたらなるべく早く刈るようにしたり、ごみが落ちていたら拾うようにしていますが、どうしても行政だけではできないこともあるので、例えば、ごみが落ちていたら気づいた人が拾うとか、地域みんなで使うものはみんなできれいにするよう、地域の皆さんにも呼びかけていくことが大事かと思っています。

3. 子どもが楽しく学び、暮らせるまち

参加者

子どもが楽しく学び、暮らせるまちです。具体的には、広い公園などでイベントを開くなどです。最近公園であまり人を見かけず、家でオンラインゲームをしている人がほとんどではないでしょうか。それではまちが活気づかないと思います。そこで、イベントを開いてみることを提案します。イベントを開けば必ずと人が集まり、まちとしてまとまっていくのではないかと考えます。

座長（市長）

家にこもってゲームをしていると、人とふれあう機会もなくなってしまうので、そういう意味では公園に出てみんなで外で過ごすというのはすごく大事だと思います。その手段として、イベントなどを開催するという意見はとても良い意見です。市としてもそういう機会を作っていくように頑張ります。また、友達とそういったイベントを自ら企画してくれると、みんながそこに参加することで、その地域が活性化すると思うので、ぜひよろしくをお願いします。

4. アイデアや声が届いたり、将来に夢や希望を持って元気に過ごせるまち

参加者

富谷市は子どもにやさしいまちづくりを宣言していることが私たちの安心につながっています。先日、若生市長は来年度からの給食の無償化を表明されて、とてもありがたいな、私たちは大切にされているのだなと、とても嬉しくなりました。もちろんお金の面だけではなく、1.心も体も元気であること、2.まちが安全でのびのび生活できること、3.まちの活性化、4.子どもの声が届くことが私の考える子どもにやさしいまちです。あくまでも私の意見ですが、人の集まることを考えると、道の駅を作る、またとみやどの隣に足湯コーナーと足つぼロードを作ったらどうかと夢が広がります。富谷市が県外から見ると少し知名度不足な気がするのは、鉄道の駅が無いことも大きいと思います。だからこそブルーベリーやはちみつ、シャインマスカットなどの特産品や地元の新鮮でおいしい野菜を販売したり、ブルベリッ娘のグッズ、その隣に子どもたちが遊べる広場を作ったり、ブルーベリー狩りもできたら楽しいと思います。さらに、地下にはシェルターを作り、ミサイルなどの万が一の時に備えると安心につながると思います。このようなアイデアや声が届いたり、将来に夢や希望を持って元気に過ごせることが、子どもにやさしいまちだと考えました。

座長（市長）

まず最初に、富谷市が子どもにやさしいまちづくり宣言をしていることを高く評価していただきありがとうございます。また、来年度からの給食費無償化を表明したことも、しっかり新聞を見てくれてありがとうございます。今回の給食費の無償化は、原油高、物価高騰など、家計が今厳しい状況にある中で、何かしら支援をできればということで、富谷市は子どもにやさしいまちづくりを宣言しているので、どこよりも真っ先に給食費の無償化を実現することが大事だと考えました。給食費の無償化によって毎年3億2千万円かかるのですが、それをみんなで頑張っただけで賄うようにしたいということで決断したところです。給食費が無償化になった分皆さんが習い事だったり、色々なところに生かしていただければと思います。道の駅やとみやなどに足湯など具体的なアイデアをいただきありがとうございました。富谷は県内で唯一鉄道の駅が無い市でありますので、そういう意味で道の駅があったらいいなと思っています。とみやどが観光交流ステーション、観光交流拠点として昨年5月にオープンし、多くの皆さんに来ていただいているので、そこを生かしながら、さらに知名度アップしていけるように頑張っていきたいと思っています。

5. 観光地や商業地をたくさん作り、県外からも観光客を呼べるまち

参加者

神奈川県横浜市では鉄道や観光地、商業地がたくさんあり、東京からも近いのでアクセスが良好です。これは富谷市も同じで、仙台から近いので鉄道を通してもっとアクセスを良好にし、観光地や商業地をたくさん作ることによって、県外からも観光客を呼べるようなまちをつくり、子どもが遊べる大きな広場を作ったり、子どもにやさしい政策を打ち出すと、子どもにやさしいまちになると思います。

座長（市長）

鉄道がないというのは富谷の1番の課題であり、何とか泉中央から鉄道軌道であったり、基幹公共交通を作れないかということで、毎年国のお金をいただきながら調査研究を行っているところです。都市・地域総合交通戦略を策定したときは明石台、成田、大清水まで、まずは軌道系の基幹交通システムを作ると策定しましたが、一気に進まないで、まずは泉中央駅から明石台までの具体的な事業費を研究しているところです。ご存じかもしれませんが、明石台に総合病院の誘致活動を行っていて、その方向で決まれば仙台市からも多くの人があるので、軌道系アクセスもなんとか実現できないかと頑張っておりますが、今日の声に励みにさらに頑張りたいと思います。また、遊び場については、成田公民館敷地内の市民図書館のセンター館をスイーツステーションと屋内児童遊戯施設との複合施設とするにあたり、市民の皆さんの声を聞きながら進めていきたいということで、1回目のワークショップを行いスタートしたところです。令和7年度には実現できればということで頑張っています。

6. 色々な世代が交流できる場があるまち

参加者

私たち小学生や小さい子連れの親子、高齢者など色々な世代が交流できる場があったら嬉しいです。例えば、とみやどのような交流できる場を作ったり、広い公園でイベントをやったりすると、住んでいて楽しいまちになると思います。また、富谷市には駅がないので、駅を作ればその周りに人が集まり、楽しいまちになると思います。

座長（市長）

世代を超えて交流できる場所、大事ですよ。とみやどが昨年5月にオープンしてから、世代を超えてたくさんの方に来ていただいています。さらに皆さんからも意見があったように、駅を作るということについては、なんとか実現に向けて頑張っていきたいと思います。

7. みんなが楽しく生活できて、楽しめる施設があるまち

参加者

みんなが楽しく生活できて、楽しめる施設があると子どもも楽しく生活できるまちになると思います。例えば大きな図書館があると色々な学校に友達もできると思います。小学生だけではなく小さい子どもも毎日が楽しくなると思います。

座長（市長）

大きな図書館は大事ですよ。富谷市には大きな図書館が無いので、大きな図書館を作りたいということで、市民の皆さんの声を聞きながら進めています。富谷市の市民図書館の目指すところは、成田公民館の敷地内にセンター館を設けて、歩いて行ける地域の図書室を分館として、各公民館の図書室とネットワークでつながるということです。近くに県立図書館もありますので、そこともつながっていれば自分の読みたい本が見つかるといったネットワーク型の市民図書館を目指すということでスタートしています。図書館のみならず、児童屋内遊戯施設やスイーツステーションを併設し、様々な世代の人が集える場所になればということで、複合施設として今整備しています。少し時間はかかるかもしれませんが、楽しみにしていただければと思います。

8. 地下鉄や電車があるまち

参加者

富谷市には高校が一つしかありません。それ以外の高校に通うためにバスを使うことが多いと思いますが、バス以外の地下鉄や電車があれば選択肢も増えると思います。地下鉄や電車があれば、子どもたちだけではなく、みんなが住みやすいまちになると思います。地下鉄や電車は動く時間が分かりやすい良さがあり、また、たくさんの方が移動できるようになると思います。

市長（座長）

軌道系は多くの方が移動できるのと、時間が正確だという良さがあります。皆さんから富谷市にもぜひそういった交通アクセスをと求められているので、実現に向けて頑張っているのもう少し時間をいただければと思います。

9. 事故のないまち

参加者

事故をなくすために、通学路にポスターを貼ると良いと思います。通学路に新しく信号ができたので、それをよく見るためのポスターや、信号のないところには左右確認をするためのポスターを貼れば事故の原因になる行動が減ると思います。

座長（市長）

ポスターなどで注意喚起するのは重要ですね。日吉台小の前の信号は、前から必要だということで警察に長年お願いしてきて、やっと今回設置していただき、安全確保につながるなど少しほっとしています。ただし、今お話があったようにみんなが交通ルールを守ることはすごく大事なことで、そういうことを啓発するポスターの設置なども大事にしていきたいと思っています。

10. 色々な人と交流し、絆が深まっているまち

参加者

色々な人と交流し、絆が深まっているまちです。そうすれば、災害が起きた時など協力できるし、知り合いがいると楽しいまちになると思いました。

座長（市長）

地震や大雨での豪雨災害などいつ災害が起こるかわからないですが、もちろん行政や消防、警察、自衛隊など頑張りますが、結果的には地域の皆さんがいかに支え合うか、協力し合うかということが重要になってくるので、そのためには日常的な交流を通じて、どこの誰かというのをお互いが分かっていたら、協力し合ったり、声を掛け合ったりできるので、そういうことを、これからも大事にしてほしいですし、周りの人にも伝えていきたいと思っています。

1 1. 子どもが毎日幸せで安全に過ごし、未来に希望を持てるまち

参加者

子どもが毎日幸せで安全に過ごし、未来に希望を持って生活していけるまちだと思います。差別がなく、あいさつや地域の行事等で自然に周りの人と関わることができ、困った時には親以外にも相談できる人がいると心強いです。大人が自分たちのことをいつも見守っていてくれることが分かると、安心して生活することができます。また交通事故や犯罪がなく、なによりも大切な命が守られることが大事だと思います。学校以外にも様々な体験を通して、大人も一緒に成長できるイベントや勉強会があればいいと思います。今回のようにミーティングを開いて子どもの意見を聞いてくれたり、子どもがまちづくりに参加できる仕組みがあると、誰もが安心して安全に暮らせるまちに近づいていくと思います。

座長（市長）

今日はこういう形で皆さんから意見をいただいておりますが、日常的に意見を言い合えたり支え合ったりすることがすごく大事であり、そのことが安心して暮らせる地域づくり、安心できる日常生活につながるという貴重な意見をありがとうございます。まさに今お話ししてくれたことが、国連が目指すところで、これからも地域の皆さんに伝えていただければと思うし、子どもから大人まで世代を超えてみんなが支え合い、特に子どもは守られる権利もあるので、子どもたちがしっかり守られる地域社会を大人たちが結束して作っていきたいと思います。

1 2. 自然が残っていて、安心して遊ぶことができ、毎日楽しく過ごせるまち

参加者

自然がまだまだ残っていて、外で遊んでいても大人たちが見守っていてくれて、安心して遊ぶことができ、毎日楽しく過ごせることが子どもにやさしいまちだと思います。子どもだけで遊びに行けて、体を動かせる施設もあると嬉しいです。また、市内の他の小学校との交流があると楽しいと思います。来年からは学校給食が無料になるということで、おいしい給食が無料で食べられるのはとても嬉しいです。そして、今はコロナが心配で我慢していることも多いので、何も心配しないで暮らせるまちになると良いと願っています。

座長（市長）

富谷は自然豊かな環境に恵まれているので、自然を大事にしながら安心して過ごせるまちづくりを目指していきたいと思います。また、給食費のことも喜んでいただきありがとうございます。今回給食費の無償化に合わせて、さらに充実した内容にしていきたいと考えています。これまでは、皆さんから給食費をいただくにあた

って、一気に値段を高くできなかったのも、どうしても限られた予算で献立を作らなければならなかったのですが、栄養価も含めてさらに充実した給食になるよう努めていきたいと思っています。ずっと黙食が続いていると思いますが、コロナが早く落ち着いてみんなで楽しく会話をしながら給食を食べられるように、また、地域の行事やお祭りができるように我々も頑張っています。

13. 近くに公園があるまち

参加者

体を動かすことが好きなので、近くに公園があるといいと思います。富谷市は緑も多いので、それも生かした公園がたくさんあるといいです。自然があれば、虫もたくさんいて、緑を楽しむことができると思います。

座長（市長）

富谷の好きなところはどこですかと尋ねると自然豊かなところという声をたくさんいただいているので、これからも大切にしていきたいと思っています。大きな公園は成田だと成田東公園もあるので、そういうところを有効にこれからも大切にしていきたいと思っていますし、皆さんが安心して遊べるような環境整備にも努めていきたいと思っています。

14. 自転車が安全に走ることができるまち

参加者

自転車が安全に走ることができるまちです。子どもの移動手段は歩くか自転車なので、自転車が車を気にせず安全に走ることができたらいいと思います。

座長（市長）

自転車で走るのは確かに危険が伴いますよね。自転車専用の道路を作ると安心して走れると思います。その辺ももしかしたら時間がかかるかもしれませんが、貴重なご意見なので実現できるように頑張りたいと思います。

15. 大人も子どもも関係なく仲良く交流が深められるまち

参加者

大人も子どもも関係なく仲良く交流が深められるまちです。災害が起きたときに交流を深めていけばみんなで協力し合えると思うからです。そのためにイベントなどを開いて交流できることを増やしたらいいと思います。

座長（市長）

日常的に交流しているといざというときに支え合えるという意見で、そのための手段のひとつとしてイベントや交流の機会を多く作っていくことが大事だということでしたが、市としてもこれからそういう機会を作れるように頑張っていきたいと思うし、ぜひ積極的に友達や地域の皆さんに声を掛けて、そういった機会を作っていただければと思います。

16. 小学生から高校生まで無料で使える施設があるまち

参加者

小学生や高校生までが無料で使える施設があれば良いと思います。富谷市には幼稚園くらいの子どもの使える公園はたくさんありますが、小学生の高学年から高校生までが使える屋内施設は少ないと思ったからです。誰でも自由に出入りできる屋内施設を作ったらいいと思います。

座長（市長）

確かに富谷は屋内施設が少なく、スポーツセンターはあるけれども使用する人が多くてなかなか使えなかったり、学校の体育館も限られていたり、施設が不足しているのは十分に認識しています。屋内施設は作るのにも結構お金がかかる場所もありますが、何とか中長期的な課題というところで頑張っていきたいと思います。



テーマ2：魅力的なまちづくりに向けて自分たちができること

1. ごみを持ち帰るように気を付ける	P 13
2. 近所の人とあいさつしたり、コミュニケーションをとる	P 13
3. 公園の遊具を大切に使う	P 13
4. どこに行ってもごみが落ちていれば拾う	P 14
5. 積極的にごみを拾う、あいさつをする、交通ルールを守る	P 14
6. ごみを減らしたり、節水や節電に取り組む	P 15
7. 季節ごとのイベントを企画する	P 15
8. シャインマスカットのキャラクターやキャッチコピーを考え、PR する	P 16
9. 年齢関係なく交流する	P 16
10. 助け合い、相手の心を思うこと	P 17
11. 子ども会でイベントを企画して自分たちで進める	P 17
12. 交通事故を無くす取組を広げる	P 18
13. 勉強やスポーツなど何でも頑張る、富谷市について知識を深める、 積極的に行事に参加する	P 18
14. まちの人と交流する機会があれば機会を見逃さず、信頼を深める	P 19
15. 積極的にボランティアに参加することを心がけ、自分でできることを探す	P 19
16. 今の富谷について考える	P 20



1. ごみを持ち帰るように気を付ける

参加者

最近、公園で遊んだ後にそのままごみを捨ててあったり、持ち帰ったりしない人が増えてきたので、お菓子を食べたりジュースを飲んだりしたら、自分たちでごみを持ち帰るように気を付けるといいと思います。

座長（市長）

自分で出したごみは自分でちゃんと持ち帰れば、絶対に汚れませんよね。当たり前のことが当たり前にできない人がいるので汚れたりするんですよ。特に公園はみんなで使う場所なのでみんなできれいにするというのは重要だと思いますので、市としても看板を立てたりして注意喚起はしていますが、日常的に一人ひとりが気を付けることが大事だと思いますので、ぜひ率先してみんなに呼び掛けていただきたいと思います。

2. 近所の人とあいさつしたり、コミュニケーションをとる

参加者

近所の人たちとあいさつをしたり、コミュニケーションをとれたりしたら仲良くできると思います。そうすればみんなが楽しくこれまで以上にいきいきと暮らしていけると思います。

座長（市長）

日常的に自分からあいさつしたりすることがつながりをつくるきっかけになるということで、貴重な意見ありがとうございます。ぜひ、自ら実践してあいさつをしてくれると、周りの人、地域の人も見えて、お互いにあいさつをすることによって交流が生まれ、いざという時に支え合えたりできると思うので大事にしていきたいと思います。

3. 公園の遊具を大切に使う

参加者

遊具のある公園があることが子どもから見ても魅力的なまちだと思うので、この遊具を大切に使うことが魅力的なまちづくりにつながると思います。

座長（市長）

公園の遊具は大事ですよ。公園の遊具というのは、市が勝手に作るのではなく、町内会長さんや町内会の皆さんに相談して、ここにはどのような遊具が必要かを聞いて設置しているのですが、町内会長さん方からどういう遊具がいいか聞かれていませんよね。これからは地域の皆さんに聞く時に、その地域の子どもさん方にも聞いてくださいとお願いするようにします。

4. どこに行ってもごみが落ちていれば拾う

参加者

魅力的なまちづくりに向けて自分たちができることは、まずは色々な人に魅力的だと思ってもらうように、どこに行ってもごみが落ちていれば拾うことです。富谷市は自然が自慢なので、それを壊さないようにしたいと思います。

座長（市長）

ごみを自ら拾うということは大切だと思いますので、みんなに広げていきたいとしますし、自ら実践してもらいたいとします。みんなでごみを持ち帰る習慣を身に付けていけば綺麗なまちが維持できると思います。

5. 積極的にごみを拾う、あいさつをする、交通ルールを守る

参加者

富谷市は住み続けたいまちランキング 2 年連続 1 位だと聞きました。自分の住むまちが 1 位というのをとても嬉しく思います。私たちが大人になってもランキング 1 位をとれるように、自然を守りながら、ごみが落ちていれば知らないふりをするのではなく積極的に拾うとか、きれいなまちづくりをしていきたいです。そしていつも近所の人たちがあいさつをしてくれるように自分もあいさつを忘れずに、これからの子どもたちにもしていきます。あと、交通事故ゼロのまちになるように、交通ルールを守り、安全に行動していきたいです。そのようにすれば富谷は住みやすく環境もいいところであると言われ、住みやすい人がますます増えると思います。そしていつか富谷に駅ができて、電車が走るようになって便利になり、高校や大学へも通いやすくなるといいなと思います。

座長（市長）

今年も 4 つの民間の自治体評価ランキングで全て県内 1 位、東北 1 位という高い評価をいただきました。これを誇りに思っていていただいてありがとうございます。ぜひ、ランキング 1 位が続けられるように皆さんにもご協力いただければと思います。きれいなまちづくりのために、ごみを拾うとかごみを散らかさない、また、あいさつをすることによってみんなが交流することが大事であるとか、貴重なご意見をありがとうございました。富谷は交通死亡事故ゼロの記録更新中で、尊い命が奪われる死亡事故だけは起こさないように、交通ルールを守っていただくように呼び掛けていきたいと考えています。

6. ごみを減らしたり、節水や節電に取り組む

参加者

僕が思う魅力的なまちは緑がたくさんあり、住んでいる人たちが幸せでいきいきと暮らしていて、人にも環境にもやさしいまちです。そのためにはごみを減らしたり、節水や節電に取り組んだり、一人ひとりが小さなことをコツコツ続けていくことが大事だと思います。僕は夏休みにゼロカーボンキャンプに参加しました。そこでは太陽光発電の仕組みを教わったり、ミツバチのために花を育てていることを知りました。環境にやさしい取組について、みんなが楽しく学べるような機会をもっと増やしてほしいと思います。僕の家近くにはせせらぎ水路があり、鯉が泳いでいます。たまには野鳥がやってきます。自然豊かで、きれいなまちを次の世代につないでいくために、人だけでなく全ての生き物が共に幸せに生きていけるよう、みんなが協力することが大切だと思います。

座長（市長）

ゼロカーボンキャンプを通して環境の大切さを自ら体験して、今日、こういった場で意見していただいて大変嬉しいです。お話にもあったとおり、人にも環境にもやさしいまちづくりというのがすごく大事で、富谷市もゼロカーボンシティ宣言で2050年まで脱炭素、CO2排出量を実質ゼロで頑張るという宣言をしたところで、ゼロカーボンキャンプもその一環として今年から取り組んでいるところです。ゼロカーボンシティ宣言で13の戦略を立てて、それぞれ取り組んできているところですが、行政がやれることには限界があります。脱炭素社会を実現させるためには、一人ひとりが日常生活で節電などをコツコツやっていくことが結果的には大きなエネルギーの消費減になり、それが環境保全にもつながると思います。異常気象は地球温暖化によって起こっていることなので、2050年までゼロカーボンシティを実現しなければならないと思っています。その頃がちょうど皆さんが社会人として富谷を担っていただいている時期なので、なんとか頑張っていきたいと思っています。

7. 季節ごとのイベントを企画する

参加者

私が通っている日吉台小学校の隣にはゆめの森という森があります。そして富谷市の1/3は森林ということです。森林がたくさんある富谷市で春に花見など、季節によって変わるようなイベントを子どもたちが企画することによって交流する場が生まれると思います。そうすることにより魅力的なまちづくりができると思います。

座長（市長）

富谷市の緑豊かな森林を守るために、子どもたちがイベントを企画するというご提案をありがとうございました。ぜひ、友達と一緒にそういった機会を作っていただければと思いますし、こういったことをやりたいなということがあれば、相談していただければ私たちも一生懸命協力したいと思いますのでよろしくお願ひします。

8. シャインマスカットのキャラクターやキャッチコピーを考え、PR する

参加者

私は学校の総合的な学習で富谷市にシャインマスカットがあることが分かりました。ただ、ブルーベリーのように PR キャラクターがないことが分かったので、自分たちでキャラクターやキャッチコピーを考え、PR していけば富谷市の魅力を発信できると思いました。

座長（市長）

ブルーベリーが富谷市の特産ということでブルベリッ娘とブルピヨというキャラクターがありますね。ブルーベリーが特産品なので富谷市はスイーツのまちづくりを柱の一つに掲げて取り組んでいます。そのスイーツのまちづくりを進めるにあたって、ブルーベリーだけでは限られてくるので、新たなスイーツの素材づくりということで取り組んだものがシャインマスカットになります。シャインマスカットは大人気で、秋のスイーツフェアでも1番人気でした。富谷のシャインマスカットの栽培面積をもっと増やしていきたいと思っています。そのためには富谷のシャインマスカットのキャラクターもあればもっと PR につながるので、今後、富谷のシャインマスカットのキャラクターづくりを考えていきたいと思っています。

9. 年齢関係なく交流する

参加者

年齢関係なく助け合ったら良いまちになると思います。例えば老人ホームと保育園が隣だと交流の場所となっていていいと思います。駒などの昔の遊びを教えてもらったりすると楽しく過ごせると思います。私たちにできることは年齢は関係なく交流することだと思います。以前、地域でお祭りをした時に色々な人が交流するのが楽しかった記憶があります。そのような場所があれば楽しく生活できると思います。

座長（市長）

世代を超えて交流することの大切さをお話しいただきました。世代を超えておじいちゃん、おばあちゃんと子どもたちが触れ合う、そのことで子どもたちは色々学ぶことができたり、昔のことを教えてもらったりできますし、おじいちゃん、おばあちゃんは逆に子どもたちの声で元気をもらえることになるので、とてもいいアイデアだと思いました。ここ2、3年コロナの影響でお祭りがなかなかできなかった

のですが、やっと今年から少しずつ復活してきました。それでもまだコロナ前のようにそれぞれの地域で開催されていたほどではありません。コロナが少しでも収束してきたら世代を超えてみんなが集まれるお祭りの機会を作っていければと思います。

10. 助け合い、相手の心进行こと

参加者

魅力的なまちづくりに向けて自分たちができることはみんなが助け合い、相手の心进行ことだと思います。自分がされたらなどを考えればいいと思います。例えば、お楽しみ会などでもみんなが助け合い、とても楽しくできました。自分がされたら嬉しいことをやったらいいと思います。富谷市全体でこのようなことができればいいと思います。

座長（市長）

自分がこうやったら相手がどのように思うだろう、どうやったら相手が喜んでくれるだろうということを常に思い合うとお互いに信頼関係もできるし、何かあったら支え合うことができるし、助け合えるので、相手を思いやることはすごく大切なことだと思います。これからも相手のことを思いながら過ごすと必ず相手にも伝わるので大切にしていきたいと思います。今日、ここに来てくださっている皆さんも今のご意見をそれぞれに受け止めていただいて、みんなが相手を思いやりながら過ごすことがみんなのためになると思っていただければと思います。

11. 子ども会でイベントを企画して自分たちで進める

参加者

魅力的なまちづくりに向けて自分たちができることは、子ども会で大人も子どもの楽しめるようなイベントを企画して自分たちで進めていくことだと思います。

座長（市長）

やはりイベントは大事ですよ。みんながそこに集って何か一つのことをやることによって、結束することができたり、交流が図られたりということで大事だと思います。コロナの影響でなかなかそういうイベントもできなかつたりしますが、これからコロナが少しでも落ち着いてきたら、そういう機会も作っていければと思いますし、ぜひその時は自らそういったところに参加していただければと思います。

1 2. 交通事故を無くす取組を広げる

参加者

魅力的なまちづくりに向けて交通事故を無くすことが重要だと考えます。僕の家
の反対車線にはショッピングセンターがあり、ショッピングセンターから道路を渡
るところが遠く、車が通っていないときに渡るところではないところを横断してい
る人を多く見かけます。富谷市に連絡して看板を作ってもらいましたが、効果はな
く、渡る人が多かったので危ないなと思っています。なので柵を作ってもらい、交
通事故を無くすような取組を繰り広げていってほしいと思います。

座長（市長）

看板を立てても効果がなかったんですね。明石台のコープのところ、看板の効果
がなかったということで、もう一回、そういったことがされないように考えてみた
いと思います。交通事故が起こってからでは遅いので、事故が起きる前にみんなで
気を付けてもらえるように考えたいと思います。

1 3. 勉強やスポーツなど何でも頑張る、富谷市について知識を深める、 積極的に行事に参加する

参加者

まずは一人ひとりが目の前の勉強やスポーツ、習い事など何でも頑張ることがま
ちが活気づく一歩になると思います。そして富谷市についても知識を深めること、
まちを知り積極的に行事にも参加することによって、自分の育ったまちに対して愛
着が湧いて、地域とのつながりも深まっていくのではないかと思います。

まちが活性化するという事は魅力的なまちづくりにつながり、私たちにとっ
てもとても嬉しいことです。それと、ごみ拾いを積極的にするなどのボランティア活
動をすること、また、富谷市の豊かな自然や歴史、文化をずっと大切に守り続け
ていくこと、富谷市の特産品であるはちみつをより多く採取できるように学校や家
にお花を植えたいと思います。魅力的なまちづくりイコール富谷市の発展につな
がると思うので、今後、積極的に自分たちができることをしていきたいと思
います。

座長（市長）

既に自ら率先して色々なことをしていますよね。これからもこれまで以上に色
々なことで活躍していただきたいし、その活躍が周りのみんなへの刺激にもなる
と思うので、ぜひこれからも頑張ってくださいと思います。ボランティア活動であ
ったりミツバチのために蜜源づくりにも取り組むというとても貴重なご意見をあ
りがとうございます。市役所の屋上に巣箱を置いてミツバチの里づくりに取り組み
始めてから、蜜源づくりに協力していただける方がすごく増えて、市内のあちこ
ちにお花を植えてくれる人達も増えました。こういうことをもっともっと広げてい

たいと思っていますので、皆さんどうぞよろしくお願いします。

14. まちの人と交流する機会があれば機会を見逃さず、信頼を深める

参加者

私は富谷市民が富谷市をより良くすることを考えることが大切だと思います。また、主体性を持ってまちづくりに参加するには、人々が信頼し、協力し合えることが重要となってくるでしょう。なので、まちの人と交流する機会があれば機会を見逃さず信頼を深めていきたいです。

座長（市長）

ぜひ、自ら積極的に交流をしていていただきたいし、自らそういう機会を作っていただきたいと思います。我々もそういう機会を作れるように努力していきたいと思います。交流によってみんなが協力し合える環境を作れると思いますし、魅力的なまちづくりにつながると思います。

15. 積極的にボランティアに参加することを心がけ、自分でできることを探す

参加者

私は積極的にボランティアなどに参加したりすることを心がけたりすることが魅力的なまちづくりにつながると思います。二つ目は何か細かいことでも自分でできることはないのか探すことです。理由としては今、自分でできることは何か見つからなくても 1 時間でも考えてみればちょっとしたことでも何か見つけることができるかもしれないと思ったからです。

座長（市長）

ボランティア活動に積極的に参加するということで魅力的なまちになるというのはまさにその通りだと思います。みんなが積極的にボランティア活動に参加する、そして今自分に何ができるかをそれぞれが考えることによって、次の一歩が踏み出せると思いますので、これから積極的にボランティア活動であったり、自分ができることを積極的に一歩踏み出して参加していただければと思います。

16. 今の富谷について考える

参加者

私はまず今の富谷について考えることが一番大切だと思います。私の学校では総合の授業で富谷に修学旅行生を呼ぶにはどうしたらいいかという問題に対して、グループでタブレットを使ってまとめています。また、私たちが修学旅行で会津に行った際に、会津の町並みなどを写真に撮り、学校に帰ってきてから会津と富谷の違いなどを見比べました。そうすると富谷の良さが改めて分かったり、こうすれば富谷に修学旅行生がたくさん来るのではないかと一人ひとりが考え始めることができました。修学旅行生が来る、イコール魅力的なまちだと思うので、色々な学校で何か目標を立てて他の地域と比較するなど調べて、授業参観の時などに家の人や他の学年に発表する機会を増やし、より多くの人に提案することが魅力的なまちにつながっていくのではないかと思います。

座長（市長）

修学旅行生が来るような魅力的なまちにしていくというのはすごく重要で、そのためにはどのようにすれば修学旅行生が富谷に来てくれるかということは今、考えていかなければいけないと問題提起をさせていただいてありがとうございます。富谷は歴史や海や山などの観光資源が少なく、そこが弱点でした。なので、自治体ランキングでも観光の部分は県内でも東北の自治体でもずっと低かったのですが、昨年、とみやどができて、初めて富谷の観光交流拠点ということで外から人が来てくれるようになりました。ただ、まだ修学旅行生まではとみやどに呼び込めていないので、さらに修学旅行生が富谷に来てもらうためには、もっと学びの機会があったりすることが必要であると思うので、そういうところも含めてこれから考えていきたいと思います。そのことによって全国から修学旅行生が富谷に来るようになれば、それがまさに魅力的なまちづくりにつながると思いますので、一生懸命、これから頑張っていきたいと思います。



○教育長感想

それでは一言、感想を述べさせていただきます。皆さんは、市の取組について本当に詳しいな、それから、子どもにやさしいまち、魅力的なまちづくりのために自分ができることなどをしっかりと考えているな、もう富谷市民としてしっかりと自覚している証だなと思って、ものすごく感心しました。これからも富谷市のことをより詳しくみんなで調べ、そして友達と意見交流しながら、たくさんのごとを学んでほしいと思います。それが、さらに魅力ある富谷市につながるのかなと思います。先ほど市長さんもおっしゃっていましたが、私も、富谷市の未来を担う皆さんの活躍がとても楽しみです。これからも頑張ってください。ありがとうございました。

○市長感想

教育長さんも、皆さんの今日の意見にすごく感激をしているというお話でした。皆さんが今日を迎えるにあたって、それぞれに真剣に考えてきてくれたことを大事に受け止めさせていただきたいと思えますし、我々は子どもにやさしいまちづくりをしっかりと実践していきたいと思っていますので、これからも引き続き、さらに努力していきたいと思っています。そのためには子どもたちが求めていることはこういうことなのだというのを教えていただけることがとても大事なことで、皆さんの声を、このわくわく子どもミーティングに限らず、こんなことはどうかと思ったら遠慮なく、直接お手紙でもいいし、学校の先生を通してでもいいし、お父さん、お母さんを通してでもいいので、いつでもどんどん思いついたことを言っていただければと思います。そのことによって、私たちが市政に反映できて、富谷が間違いなく子どもにやさしいまちにつながっていくと思います。先ほど、自治体ランキングのお話をしましたが、宮城県 1 位、東北 1 位と、今年もたくさん高い評価をいただきました。しかしながら、富谷は住みたくなるまち日本一を目指しているのです、さらに子どもにやさしいまちづくり、そして新たな視点として SDGs、持続可能な開発目標ということで、持続可能な社会づくりをしっかりと進めていくこと、そのためには環境や自然をしっかりと守るということも大事でありますし、そして地域の人達がお互いに世代を超えてつながって交流し合うこと、いざというときに支え合ったり助け合うこともすごく重要です、その一つ一つが間違いなく魅力あるまち富谷につながっていくと思います。富谷は 1960 年の国勢調査からずっと人口が増え続けていて、一度も合併したことのない、全国的にも珍しい、村から町へ、町から市へと単独で発展してきた自治体で、60 年間も人口が増え続けています。国立社会保障・人口問題研究所が、2040 年まで人が増え続けるのは東北では唯一富谷市のみという推計をしています。そうであれば、2060 年まで、100 年間人が増え続けるまちを目指そうということで今、一生懸命一つ一つの政策に取り組んでいるところです。今日ここに集まってくれた皆さんはこれからの富谷、未来の富谷を担っていただく皆さんなので、本当に今日は心強い限りです。富谷の未来は明るいなと確信をした日でもあります。今日のこの出会い、そして今日の皆さんの声をしっかりと受け止めさせていただいて、今後に生かしていきたいと思っています。本日は誠にありがとうございました。

